

医系総合大学の特色を活かした学部連携教育

医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部からなる医系総合大学の利点を生かし、チーム医療に積極的に貢献できる医療人を養成するために、「学部連携教育」を行う。1年次は、チーム医療の基盤作りとして、学部連携の初年次体験実習やPBLチュートリアル、2，3年次は医療・福祉におけるチーム医療のプロセスの体験実習と学部連携PBLチュートリアル、4，5，6年次は、大学内外の医療施設や地域社会での実践的なチーム医療学習を、いずれも4学部連携カリキュラム（多職種連携教育、inter-professional education: IPE）として実施する。歯学部では、従来から行っている6年一貫の「社会と歯科医療コース」と連携して、「社会と歯科医療・チーム医療コース」として教育を行う。

初年次体験実習 1年次の全寮制の環境を活かした早期体験実習として、4学部合同の学生グループで、①病院見学、②福祉関連施設体験、③AED+心肺蘇生および外科的救急処置の実習を行う。

医療・福祉におけるチーム医療のプロセスの体験学習 歯学部では、2年次「福祉・健康とコミュニケーション」で、高齢者の福祉制度を学び、その生活の場で口腔のケアを実習する。3年次「保健・医療とコミュニケーション」では、地域保健の場における口腔保健活動と、一般病院病棟におけるチーム医療を体験する。

学部連携PBL(Problem-based learning)チュートリアルによる問題解決型学習 4学部合同の学生グループによる学部連携PBLチュートリアルを1・3・4年次（保健医療学部は1・2・3年次）に実施する。内容は学年に従い徐々に臨床の場面設定に近づける累進型としている。1年次には身近な話題をテーマとしたPBLチュートリアルを2回、3年次（保健医療学部2年次）には患者症例をもとにした臨床シナリオ・PBLチュートリアルを1回、4年次（保健医療学部3年次）は、病棟での資料を用いた病棟実習シミュレーション・PBLチュートリアルを1回実施する。

学部連携病棟実習 医・歯・薬学部5年生、保健医療学部理学療法学科3年生、看護学科・作業療法学科4年生の学部合同チームが同じ患者を1週間担当する学部連携病棟実習を、附属7病院の約40病棟で実施する。

学部連携地域医療実習・学部連携アドバンスト病院実習 医・歯・薬学部6年生、保健医療学部4年生の選択実習として、在宅医療を中心とした地域におけるチーム医療の臨地実習をする学部連携地域医療実習、および大学病院における専門性の高い領域（がん、感染制御、救急医療、周産期医療など）のチーム医療を体験学習する学部連携アドバンスト病院実習を実施する。

昭和大学の体系的なチーム医療学習のカリキュラム

